

<様式1> 管理運営状況評価書

は選択入力項目

は自動計算のため入力不要

【対象年度:令和2年度】

( ⑤その他の施設 )

I 施設概要・利用情報

(単位:人、%、円、日)

施設名	掛川市森の都ならこの里		担当課名	生涯学習協働推進課	記入者職氏名	主事 竹内 友希
区分	内容・説明					
1 施設及び指定管理者の状況	(1)設置条例名	掛川市森の都ならこの里条例				
	(2)施設設置目的	健全な余暇の活用をし、市民の福祉の増進に寄付する。				
	(3)施設が有する設備、機能の概要	総合案内施設1棟、オートキャンプ場100台、バンガロー27棟、コテージ5棟、共同炊事場4ヶ所、コインシャワー8基、トイレ5ヶ所、林間広場9,880㎡、テニスコート2面、釣り堀1ヶ所、工作室1棟、研修棟1ヶ所、温泉館1棟、森林科学館1棟				
	(4)施設建設年度	研修棟(昭和57年) 総合案内施設(平成6年) 温泉館(平成15年)				
	(5)耐震性能の有無	有り				
	(6)将来予想される改修経費(想定年度と費用見込み)					
	(7)指定管理者名	株式会社森の都ならここ				
	(8)指定期間	平成29年4月1日 から 令和4年3月31日 まで				
	(9)債務負担行為設定の有無	<input type="checkbox"/> 設定あり	<input checked="" type="checkbox"/> 設定なし	※設定ありの場合、(期間 平成 年度～令和 年度) (限度額 千円)		
	(10)施設の管理運営形態	②利用料金制度				
	(11)自主事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり	<input type="checkbox"/> 実施なし	※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。		
	(12)その他事業の有無	<input type="checkbox"/> 実施あり	<input checked="" type="checkbox"/> 実施なし	※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。		
(13)事業報告書提出の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 提出あり(地自法第244条の2第7項による提出義務)		<input type="checkbox"/> 提出なし			
(14)利用者満足度調査等実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり	<input type="checkbox"/> 実施なし	※実施ありの場合、(直近の実施年度 令和2年度)			

区分		H30実績	R01実績	R02実績	R03当初	備考	
2 利用状況	(1)施設利用者数	(目標値)	148,000	152,000	134,000	130,000	※協定書に記載した要求水準値を記入してください。
		(実績値)	141,834	146,112	101,301		
	内訳 (施設・設備ごと)	①キャンプ場		59,939	68,721	52,159	
		②温泉館		80,725	76,710	49,142	
		③活動拠点施設		1,170	681	0	
	(2)稼働率(利用率)						↓備考欄に算定式を記入してください↓
	(施設・設備ごと)	①区画サイト (定員92人)	A平日昼間	14.0%	15.3%	20.1%	稼働率＝年間利用者数÷営業日数÷定員数 3,933人÷213日＝18.5人/日 18.5÷92＝20.1%
			B平日夜間				
			C土日祝昼間	72.5%	78.0%	72.6%	
D土日祝夜間							
②フリーサイト (定員226人)		A平日昼間	14.5%	16.1%	22.4%	稼働率＝年間利用者数÷営業日数÷定員数 10,801人÷213日＝50.7人/日 50.7÷226＝22.4%	
		B平日夜間					
		C土日祝昼間	69.2%	69.3%	61.2%		稼働率＝年間利用者数÷営業日数÷定員数 13,839人÷100日＝138.4人/日 138.4÷226＝61.2%
		D土日祝夜間					
③コテージ (定員60人)		A平日昼間	27.6%	24.1%	18.8%	稼働率＝年間利用者数÷営業日数÷定員数 2,402人÷213日＝11.3人/日 11.3÷60＝18.8%	
		B平日夜間					
		C土日祝昼間	69.5%	75.7%	52.8%		稼働率＝年間利用者数÷営業日数÷定員数 3,172人÷100日＝31.7人/日 31.7÷60＝52.8%
		D土日祝夜間					

2 利用状況	(施設・設備ごと)	④バンガロー (定員131人)	A平日昼間	14.5%	16.6%	12.0%	稼働率＝年間利用者数÷営業日数÷定員数 3,343人÷213日＝15.7人/日 15.7÷131＝12.0%	
			B平日夜間					
			C土日祝昼間	45.5%	51.1%	40.2%		稼働率＝年間利用者数÷営業日数÷定員数 5,261人÷100日＝52.6人/日 52.6÷131＝40.2%
			D土日祝夜間					
		⑤温泉館 (定員80人)	A平日昼間	19.5%	19.2%	15.5%	25,955人÷191日＝135.9人/日(1回平均利用時間は1時間、 11時間で11回転として)、135.9÷11＝12.4人/日/回、 12.4÷80人＝15.5%	
			B平日夜間					
			C土日祝昼間	44.9%	45.2%	30.0%		23,187人÷88日＝263.5人/日(1回平均利用時間は1時間、 11時間で11回転として)、263.5÷11＝24.0人/日/回、 24.0÷80人＝30.0%
			D土日祝夜間					
		(定員 人)	A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
区分		H30実績	R01実績	R02実績	R03当初	備考		
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名					※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入		
	(2)利用者一人当たりの運営経費		484	518	676			
	(3)運営日数		350	334	313	350		
	(4)運営人員	①正規職員	2.0	2.0	2.0	2.0	※指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管理施設で働いている実人数を記入してください。	
		②臨時職員	24.0	27.0	27.0	29.0		

## II 施設管理に係るコスト情報

(単位:円、%)

区分		H30決算額	R01決算額	R02決算額	R03当初予算額	備考
	①人件費	44,134,128	48,462,808	45,568,108	41,455,100	
	②印刷費	2,642,318	4,065,398	3,400,936	1,300,000	
	③通信費	1,033,948	1,168,579	749,940	820,000	

(1)運営コスト(A)	④事務用品、旅費、図書費など	154,964	181,520	136,364	145,000	
	⑤借上料	1,707,959	1,511,959	1,589,500	1,440,000	
	⑥保険料、消費税(租税公課)等	5,680,610	5,636,560	4,218,470	6,480,000	
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)	13,351,797	14,605,338	12,812,252	14,000,000	
	計	68,705,724	75,632,162	68,475,570	65,640,100	
	対前年度増減率		10.1	△ 9.5	△ 4.1	
区分		H30決算額	R01決算額	R02決算額	R03当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	①管理委託費(外注費)	840,500	1,234,624	1,681,488	575,000	
		840,500	1,234,624	1,681,488	575,000	
	②修繕費	6,473,407	8,631,259	3,260,471	5,000,000	
	③光熱水費	12,408,260	12,147,600	9,520,126	12,000,000	
	④燃料費					
	⑤清掃費					
	⑥保守点検費					
	⑦その他(施設消耗品)	2,014,942	2,821,577	3,047,775	1,977,400	
	計	21,737,109	24,835,060	17,509,860	19,552,400	
	対前年度増減率		14.3	△ 29.5	11.7	
(3)トータルコスト(施設管理費 合計) (A)+(B)		90,442,833	100,467,222	85,985,430	85,192,500	
(4)合計のうち運営コストの割合		76.0	75.3	79.6	77.0	
(5)施設の収入 ※1)下記3)に入力する		75,829,807	80,446,413	60,549,319		
(6)運営コストのうち利用料収入の割合		110.4	106.4	88.4		

Ⅲ 収支差額の状況 注【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】

(1)指定管理料のみで運営している施設

(単位:円)

区分	H30決算額	R01決算額	R02決算額	備考
a) 施設使用料収入				※施設使用料は、掛川市へ収入される ならここは該当なし
b) 指定管理料				
収支差額 a)－b)				

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設

(単位:円)

区分	H30決算額	R01決算額	R02決算額	備考
a) 施設利用料金収入	75,829,807	80,446,413	60,549,319	※施設利用料金は、指定管理者へ収入される
b) 収支差額( a－トータルコスト)	△ 14,613,026	△ 20,020,809	△ 25,436,111	
c) bに対する市の支出額(指定管理料)				

(3)自主事業及びその他事業の状況

(単位:円)

区分	H30決算額	R01決算額	R02決算額	備考
a) 自主事業の収入	26,073,950	25,836,474	17,278,422	
b) 自主事業の支出	10,853,262	10,881,409	6,919,793	
収支差額 a)－b)	15,220,688	14,955,065	10,358,629	
c) その他事業の収入	110,150	3,628,062	10,691,014	
d) その他事業の支出				
収支差額 c)－d)	110,150	3,628,062	10,691,014	

## IV 担当課による評価

## (1) 施設設置目的の達成度

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	設置目的を達成できている	3	「健全な余暇の活用を促進し、もって市民の福祉の増進に寄与する」という設置目的を達成できていると考える。また、地域の交流拠点施設として、活用が図られている。
2	設置目的をほぼ達成できている。		
1	設置目的を一部達成できていない。		
0	設置目的を達成できていない。		

## (2) 協定書に記載した業務要求水準の達成度 &lt;達成 3点、8割達成 2点、6割達成 1点、6割以下の達成度 0点&gt;

評価項目	要求水準	実績	評価	改善を要する点
A 施設全体の満足度	90	99	3	要求水準を満たしており、今後も継続して実施していく。
B サービス内容の満足度	90	96	3	要求水準を満たしており、今後も継続して実施していく。
C 従業員対応の満足度	90	97	3	要求水準を満たしており、今後も継続して実施していく。
D 施設安全対策の満足度	90	96	3	要求水準を満たしており、今後も継続して実施していく。
E 美観・清潔感の満足度	90	97	3	要求水準を満たしており、今後も継続して実施していく。
F 施設の利用者数	150,000	101,301	1	新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、キャンプ場、温泉館ともに利用者が大幅に減少した。ポストコロナに向け、感染対策を継続しつつ、広報宣伝を積極的に行う。

\*協定書の業務要求水準及び実績を記載し、評価については要求水準に達していれば3、8割達成は2、6割達成は1、6割以下は0としてください。

(3) 収支の改善状況 ※収支差額が赤字は0点、収支差額が黒字は1点から3点としてください。

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	前年度より収支状況が向上している。	0	キャンプ場、温泉館ともに利用者が大幅に減少し、キャンプ場は黒字を保ったが、温泉館は赤字額を増やした。16期連続の黒字決算が途切れ、トータルでも赤字となった。 感染対策を継続しつつ、キャンプ場の利用者回復を目指す。温泉館については、さらにPRをし、キャンプ場との相乗効果で利用者の増加を目指す。
2	前年度と同等の収支状況になっている。		
1	前年度より収支状況が縮小している。		
0	収支差額が赤字となっている。		

(4) 安全対策・危機管理体制など

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	利用者の安全対策や危機管理体制は万全である。	2	危機管理マニュアルについては、職員会議で決定したルールに沿って運営しており、マニュアルの整備はされていないが、職員以外の者でも理解できるように、マニュアルを作成し周知徹底を図る。
2	万全とは言えないが、事故等が発生する確率は低い。		
1	安全対策・危機管理体制は整っているが、昨年度事故等が発生している。		
0	利用者の安全対策や危機管理体制に不備があり、改善が必要である。		

(5) 本施設(事業)の継続性と行政の関与について

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	民間が実施できる事業であり、行政が実施しなくてよい。 (施設の貸付、売却、譲渡、独立採算制などを検討)	3	
2	民間が実施できるが、行政の関与が必要である。 (直営化、一定額指定管理料制度など)		
1	現在の指定管理で良いが、大幅な経営改善が必要である。 (独立採算制、一定額指定管理料制度への移行など)		
0	民間では実施できない、担い手がないため、行政がやるべきである。 (直営化など)		

(6) 総合評価

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	本施設の指定管理者として、特に優れている。最適である。	2	新規の利用者獲得に向けてはキャンプや温泉に詳しい専門的な分野での知識を持った会社や人が関わることで今以上により良い経営が実現できる。
2	本施設の指定管理者として、問題はなく適当である。		
1	本施設の指定管理者として、やや劣っている。改善を要する。		
0	本施設の指定管理者として、著しく劣る。適当でない。		

合計

26

／33

V その他自由意見

--